

「海の日」記念行事開催

- ◆事業名 「海の日」記念行事
- ◆活動主体 東京海洋大学(広報・社会貢献委員会)
- ◆対象者 一般
- ◆開催日 令和元年7月15日(月・祝)
- ◆関連URL <https://www.kaiyodai.ac.jp/events/general/201906271200.html>

目的

東京海洋大学では、一般の皆様にも、海に親しみ・興味を持っていただくとともに、本学が行っている教育・研究活動をわかりやすくご紹介するために、毎年、「海の日」記念行事を開催しています。

概要(実施イベント)・成果

7月15日の「海の日」に越中島・品川の両キャンパスで記念行事を開催しました。例年であれば「海の日」は梅雨明け直後の暑い一日となるところですが、本年は朝から小雨が降る梅雨寒の中、両キャンパスで2,000人近くの来場者がありました。

越中島キャンパスでは、毎年大好評の電池推進船「らいちょうN」と調査・研究船「やよい」の体験航海、「水中探査ロボット教習所」にてROVの体験操縦会、「水の実験・工作教室」にて水力船の作成、その他研究設備等の見学会などを行いました。

品川キャンパスでは、中学生・高校生を対象とした「青鷹丸」の体験航海や本学学生が体験談等を披露する「クジラについて、もっとよく知ってみよう!」、メタンハイドレートペレットの冷たさを体感できる「燃える氷、メタンハイドレートを触ってみよう! 燃やしてみよう!」、海藻の押し葉標本でハガキやしおりを作る「海藻の押し葉標本をつくろう」など、さまざまなイベントが実施されました。

期待される効果

『「海の日」記念行事』は、平成8年7月20日が「海の日」となって以来、東京海洋大学の前身である東京商船大学において開催され、統合後の平成16年からは東京海洋大学に継承され、現在まで継承されてきています。その間、年々、来場者も増加傾向にあって、海に対する関心を高め、「海の日」に関する啓発強化、また、本学の地域連携強化に繋がるものと期待されます。



電池推進船「らいちょうN」体験航海



調査・研究船「やよい」体験航海



水中探査ロボット教習所



水の実験・工作教室



練習船「青鷹丸」体験航海



クジラについて、もっとよく知ってみよう！



燃える氷、メタンハイドレートを触ってみよう！
燃やしてみよう！



海藻の押し葉標本をつくろう